

西部地域政策総合会議 計画推進評価部会 評価結果

資料3 によって、

計画推進評価部会 (H23. 12. 6) の評価結果を
地域政策総合会議 (H24. 3. 5) に報告した。

【参考】 評価部会の資料

別添 2-2-1 (資料 6)

別添 2-2-2 (資料 7)

平成 24 年 3 月 21 日

県政運営評価戦略会議



徳島県西部地域政策総合会議評価部会報告

■開催概要

- 1 日時 平成23年12月6日(火) 午後2:30~4:30
- 2 場所 西部総合県民局 美馬庁舎 大会議室
- 3 出席者 委員7名中6名出席
 専門委員：石田和之(敬称略、以下同じ)
 岩崎良子
 一般委員：岡田正子
 新田正子
 浜口伸一
 藤原武志
- 4 議題 西部圏域振興計画(H19~H22年度)の評価
- 5 配付資料 西部圏域振興計画の取組結果の概要について
 " の主要事業達成状況一覧表
 " 取組結果評価シート
 " 評価結果について
- } 参考のため、評価部会資料を
 (別添2-2-1)と2添付
 " 2-2-2)

■議事項目

- 1 取組実績等説明
 事務局が資料とスライドを併用しながら取組状況を説明
- 2 評価検討
 評価部会委員が重点項目ごとに評価

■評価(意見)の概要

1 総括

7つの重点項目で概ね目標を達成しており評価できるレベルです。

しかしながら、西部圏域全体では過疎・高齢化という大きな課題があります。

総合的行政機関である県民局においては、観光をはじめ、都市住民による農山村体験や産直市等によるにぎわい交流を進めるなど交流人口の拡大を図り、定住人口の増加に向けた施策を展開していくことが重要であると考えます。

そのためには、圏域の自然、歴史・文化、産業といった地域資源の魅力により一層磨きをかけ、西部圏域の将来に、夢と希望が持てるような事業を展開していただきたいと思ひます。

2 項目別

(1) 重点項目1：A評価

間伐をどのように進めていくのかが大きなテーマと思われます。今後とも、地域産材のブランド化を進め建築用として使われるよう、その利用拡大に向けて力を入れていく必要があります。

(2) 重点項目2：A評価

県西部では” こういう物 ” があるというのが明確にわかるように、地域のブランド力を付けていくことが重要と考えます。特に、観光面では、観光資源として有望なところは重点的に取り組んでいくべきと考えます。

(3) 重点項目3：A評価

ICTを利用するにあたっては、いろいろな分野との連携を進め、特に、今後は高齢化に対応した活用を進めていく必要があると考えます。

(4) 重点項目4：A評価

数値項目の中には、県民局と市町の間で調整が必要と見受けられたものがあります。数値や項目の設定にあたっては、十分調整を図っていく必要があります。震災対策では、西部圏域の耐震診断率が県平均を下回っており、今後、優先的に力を入れていくべきと考えます。

(5) 重点項目5：A評価

シカによる被害については、その被害を防ぐ対策にとどまらず、食材としてのシカ肉の活用拡大を図るなど、総合的に鳥獣害対策を強化していただきたい。

(6) 重点項目6：A評価

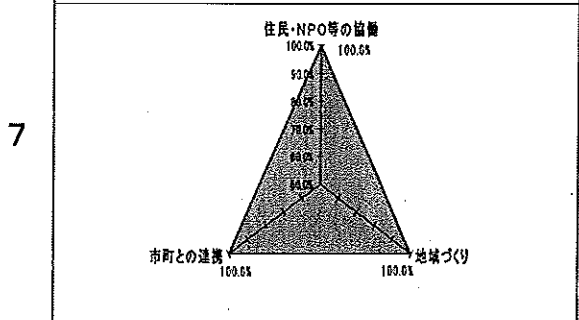
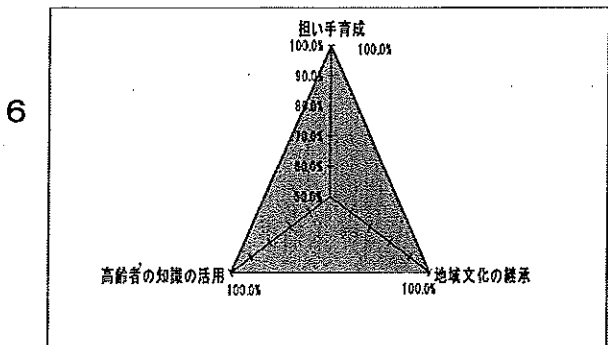
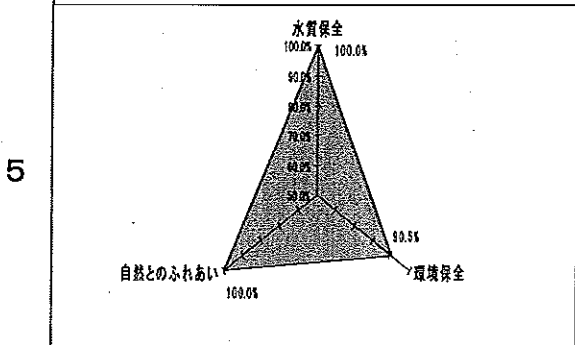
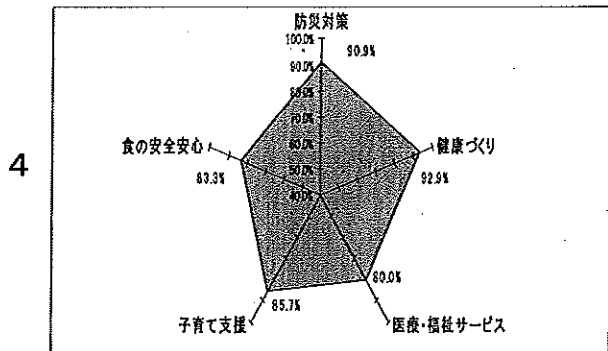
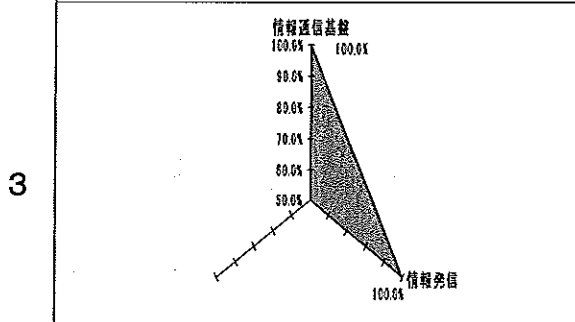
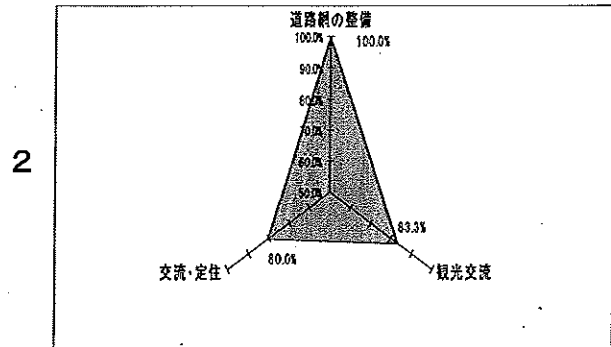
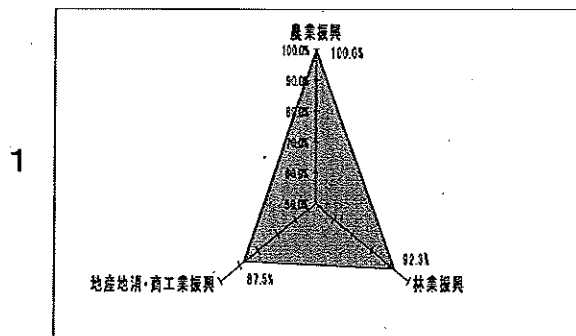
農業体験交流などの活動は、地域の歴史・文化を再認識することにもつながっており、地域活性化にとっても極めて重要であると考えられることから、今後とも力を入れて取り組んでいく必要があります。

(7) 重点項目7：A評価

行政は、住民やNPO等の各種取組みの立ち上げ時の支援に止まらず、民間活動が継続して行えるよう、いろいろな形で支援していく必要があります。その一方で、民間団体等においては、自立に向け、主体的な取組みが必要であると考えます。

<参考>

重点項目	評価			計
	達成 100% A	ほぼ達成 80%以上 B	未達成 80%未満 C	
1 農林業資源や地域特性を活かした産業の振興	23 88.5%	1 3.8%	2 7.7%	26 100.0%
2 観光資源を活かした交流と定住の促進	18 85.7%	0 0.0%	3 14.3%	21 100.0%
3 情報通信基盤整備の促進と圏域からの情報発信	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
4 健康で安全・安心に暮らせる環境づくり	34 79.1%	2 4.7%	7 16.3%	43 100.0%
5 環境資源の保全と暮らしの共生	22 88.0%	1 4.0%	2 8.0%	25 100.0%
6 地域に根ざした産業や文化を支える人づくり	7 77.8%	2 22.2%	0 0.0%	9 100.0%
7 多様な主体の連携・協働による地域づくり	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
合計	119 85.6%	6 4.3%	14 10.1%	139 100.0%



※グラフ左の数は重点項目の番号です。
 ※このグラフでは各重点項目の施策ごとのA、B評価の割合を表しています。

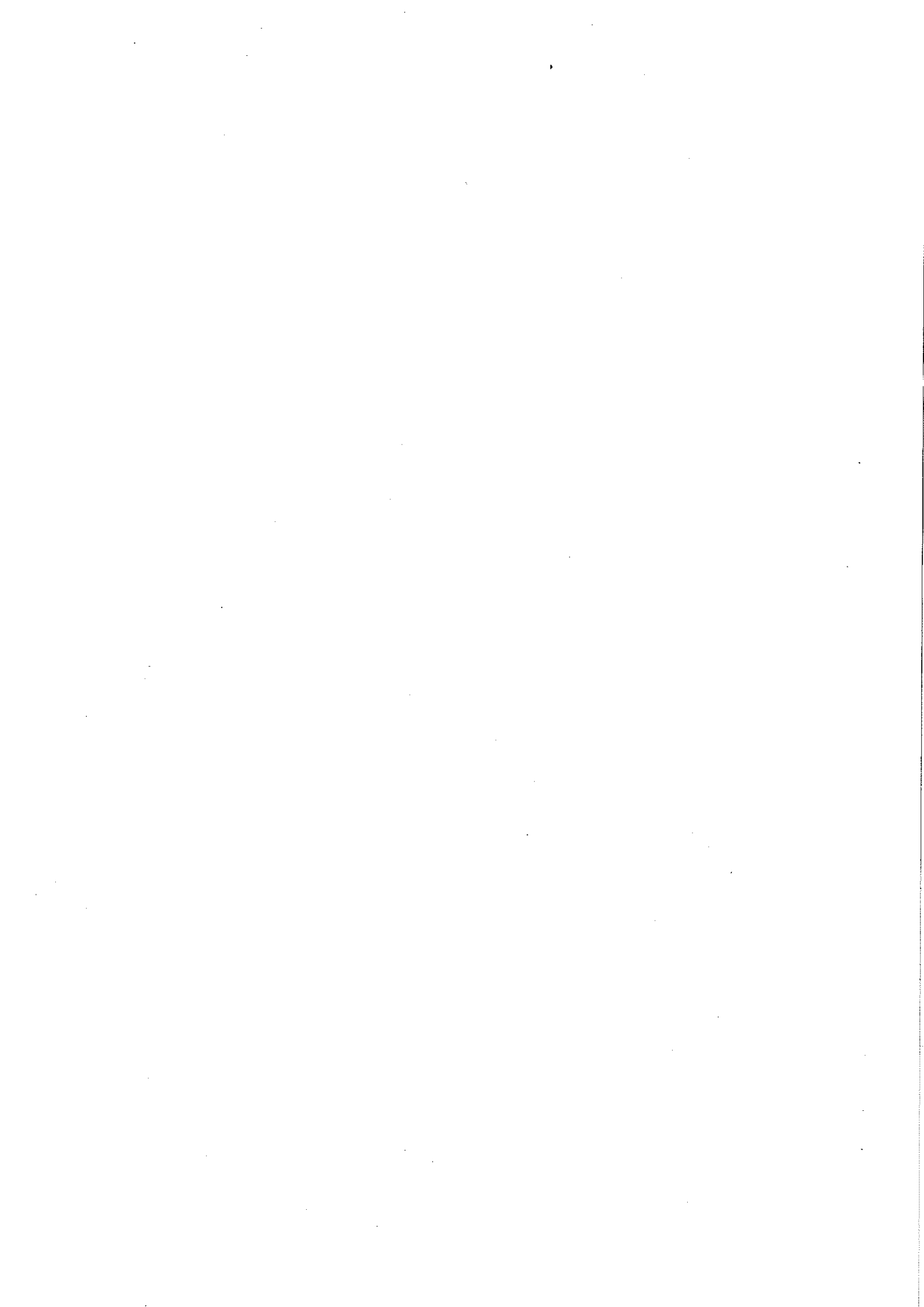


「徳島県西部圏域振興計画」取組結果評価シート

達成:1. ほぼ達成:2. 未達成:3. 実績値なし:-

達成(100%):A. ほぼ達成(80%以上):B. 未達成(80%未満):C

番号	数値目標	数値目標 (実績)		達成度	取組状況	自己評価	進捗度	特記事項 (未達成の理由、委員の意見等)	
		単位	実績						
重点項目1 豊後・香取・徳島地域の生活がけし産業の振興									
1 地域の特徴を活かした農業振興									
1	認定事業者数(累計) ＜H18＞231経営体 → ＜H22＞265経営体	経営体	243	251	262	292	1	ハソコ連合会等の関係や経営改善計画の作成支援を行い経営感に優れた事業者やファミリー企業等の育成を進めた。	農林 A 113.0%
2	ファミリービジネス事業者数(累計) ＜H18＞12経営体 → ＜H22＞6経営体	経営体	13	13	16	16	1	高齢者などが小規模に就労する農作物を産出するJA出荷場に協賛する集出荷システムを構築し、中山間農業者の経営安定を支援した。	農林 A 100.0%
3	小規模農家出荷システムの構築 ＜H21＞構築		-	-	構築	推進	1	高年齢者などが小規模に就労する農作物を産出するJA出荷場に協賛する集出荷システムを構築し、中山間農業者の経営安定を支援した。	農林 A 構築
4	家畜排せつ物の堆肥化率 ＜H18＞87% → ＜H22＞98%	%	97	98	98	98	1	管内畜産農家における堆肥化率の維持向上に努め、環境に優しい農業を推進した。	農林 A 100.0%
5	エコファーマー認定数(累計) ＜H18＞357人 → ＜H22＞455人	人	341	424	455	456	1	認定期間が満了する者の再認定を推進するとともに、計画認定申請書作成及び栽培技術講習会を行うなど、エコファーマーの育成支援を行った。	農林 A 101.0%
2 森林資源を活かした林業振興									
6	間伐林地面積(累計) ＜H18＞2,772ha → ＜H22＞11,242ha	ha	3,944	7,052	10,851	11,564	1	隣接した森林の圃地化と森林施業の共同化を推進するとともに、現馬市木島平に設置した「森のショールーム」を活用し森林認証の認知度向上・取得促進を図った。	農林 A 103.8%
7	森林認証取得面積(累計) ＜H18＞820ha → ＜H22＞9,000ha	ha	4,315	5,216	7,721	11,348	1	隣接した森林の圃地化と森林施業の共同化を推進するとともに、現馬市木島平に設置した「森のショールーム」を活用し森林認証の認知度向上・取得促進を図った。	農林 A 128.7%
8	森林認証モデル林の設置 ＜H20＞設置		-	設置	推進	推進	1	隣接した森林の圃地化と森林施業の共同化を推進するとともに、現馬市木島平に設置した「森のショールーム」を活用し森林認証の認知度向上・取得促進を図った。	農林 A 設置
9	新間伐システムの導入・稼働数(累計) ＜H18＞5セット → ＜H22＞10セット	セット	7	8	10	10	1	間伐を効率的に進めるための林道・作業道の整備を推進するとともに、高圧送電線と作業道を組み合わせた新間伐システムを導入するための支援を行った。	農林 A 100.0%
10	作業道の開設延長(累計) ＜H18＞81,000m → ＜H22＞315,000m	m	139,045	211,081	284,637	375,498	1	間伐を効率的に進めるための林道・作業道の整備を推進するとともに、高圧送電線と作業道を組み合わせた新間伐システムを導入するための支援を行った。	農林 A 125.9%
11	間伐実施面積(4ヶ年累計) ＜H22＞8,100ha	ha	2,392	4,223	6,420	8,636	1	間伐を効率的に進めるための林道・作業道の整備を推進するとともに、高圧送電線と作業道を組み合わせた新間伐システムを導入するための支援を行った。	農林 A 106.6%
12	うち間伐輸出面積(4ヶ年累計) ＜H22＞2,200ha	ha	413	845	1,276	1,659	3	輸出間伐材を中心に素材生産の増大を図り、製材用、舎取用など生産された間伐材を余すことなく利用する「林業飛躍プロジェクト」を推進した。	農林 C 75.4%
13	間伐輸出材積(4ヶ年累計) ＜H22＞126,000m ³	m ³	24,947	58,102	79,779	116,543	2	輸出間伐材を中心に素材生産の増大を図り、製材用、舎取用など生産された間伐材を余すことなく利用する「林業飛躍プロジェクト」を推進した。	農林 B 92.5%
14	森のエキスパート(技術者)育成者数(累計) ＜H18＞20人 → ＜H22＞40人	人	28	32	40	40	1	職場での実務を通じて行う施業従事者の教育訓練を行うなど、森のエキスパート育成の支援を行った。	農林 A 100.0%
15	徳島県木材認証制度登録事業所数(累計) ＜H18＞19事業所 → ＜H22＞30事業所	事業所	25	25	30	33	1	地域産材の産地認証、品質認証や生活・公共工事(残置型間伐材型)への活用など木材の需要拡大への取組を進めた。	農林 A 127.3%
16	公共事業における地域産材使用量 ＜H18＞810m ³ → ＜H22＞800m ³	m ³	1,575	1,556	1,536	2,210	1	地域産材の産地認証、品質認証や生活・公共工事(残置型間伐材型)への活用など木材の需要拡大への取組を進めた。	農林 A 155.6%
17	バイオマス利用研究会の設置 ＜H19＞設置		設置	推進	推進	推進	1	製材屑材やパルク・林地残材などを木質バイオマスとして活用するための検討会を開催し、出荷場まで運搬するシステムを検討した。	農林 A 設置
18	林地残材輸出・運搬システムの検討 ＜H21＞実績試験		-	-	実績試験	推進	1	林地残材を体内から燃出し、出荷場まで運搬するシステムを検討するため、「D材」利用促進試験事業を実施した。	農林 A 実績試験



「徳島県西部圏域振興計画」 評価結果について

◎ 評価基準

- 1 数値項目の評価（計画期間の4年間の進捗度で評価）
 - 進捗度 100%以上達成 : A（達成）
 - 100%未満80%以上達成 : B（ほぼ達成）
 - 80%未満 : C（未達成）
- 2 施策の評価（数値項目の成果を踏まえ、県民目線を念頭に総合的に評価）
 - 成果が上がっている。 : A
 - 相当程度成果がある。 : B
 - 成果不足。 : C

◎ 評価対象

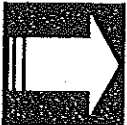
「徳島県西部圏域振興計画」では、「住民の目線・地域の目線に立った地域づくり」をはじめとする3つの視点に立ち、次の7つの柱を重点項目として圏域振興に取り組んできたため、評価にあたっては重点項目ごとに行う。

- 1 農林業資源や地域特性を活かした産業の振興
- 2 観光資源を活かした交流と定住の促進
- 3 情報通信基盤整備の促進と圏域からの情報発信
- 4 健康で安全・安心に暮らせる環境づくり
- 5 環境資源の保全と暮らしとの共生
- 6 地域に根ざした産業や文化を支える人づくり
- 7 多様な主体の連携・協働による地域づくり

重点項目1

農林業資源や地域特性を活かした産業の振興

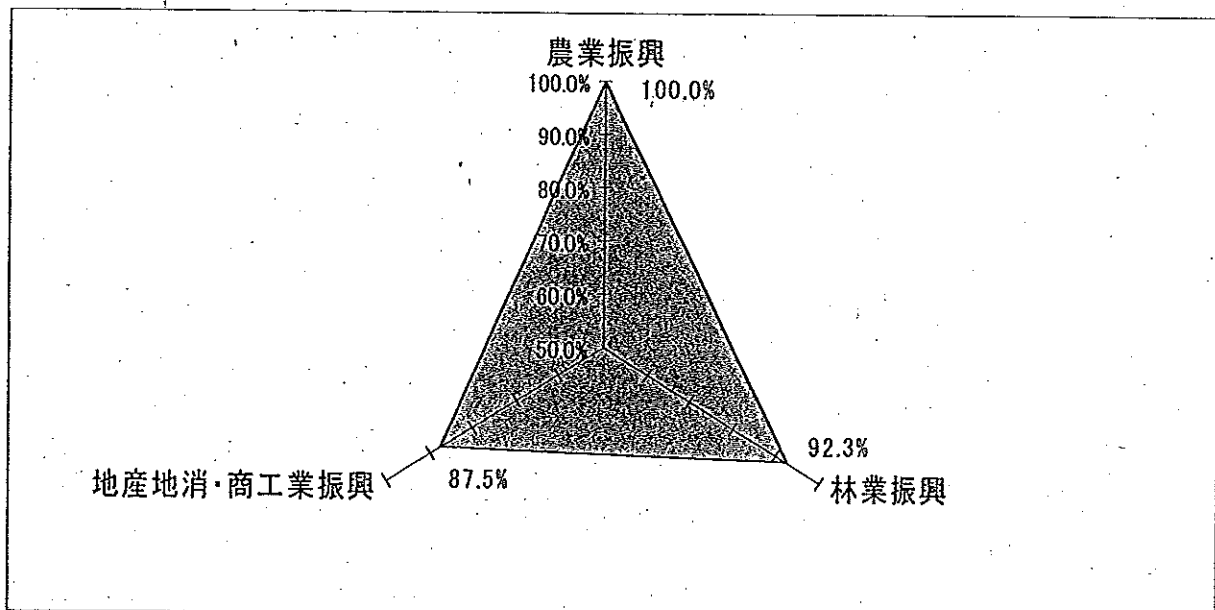
～「いきいきと働ける西部」の実現～

施 策 目 標	中山間地域の冷涼な気象条件や森林資源、圏域の特産品などの資源や、四国3県に隣接するという特徴等を活かした取組みにより、圏域産業の活性化を目指します。	
施 策 体 系	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 農林業資源や地域特性を活かした産業の振興 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特徴を活かした農業振興 ・ 森林資源を活かした林業振興 ・ 地産地消の推進・地域特性を活す商工業の振興 </div>	
主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産基盤と農村環境の整備 ・ ブランド化の推進 ・ 経営体の育成 ・ 環境と調和した農業生産 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林施業集約化と間伐の推進 ・ 森林認証取得推進と地域材の需要拡大 ・ 地域産品の利用促進 ・ 地場産業の振興

【進捗度】

進捗度	数値項目数	項 目 名
100%	23	別表（資料6）のとおり
80%以上 100%未満	1	・ 搬出間伐材積（4ヶ年累計）
80%以下	2	・ 搬出間伐面積（4ヶ年累計） ・ とくしま安 ² 農産物認証数（累計）
計	26	

【施策体系別指標】 ※A・B評価の割合



【 評 価 】

●県民局（自己評価）

評 価	内 容
A	<p>重点項目1については、「農業振興」、「林業振興」及び「地産地消・商工業振興」の3施策、26の数値項目のうち、「搬出間伐面積」、「とくしま安²農産物認証数」の2項目で「未達成」の結果となったものの、ほか24項目（全体の92.3%）で「達成」・「ほぼ達成」の状況となっており、この分野における取組みは順調に行われたと評価する。</p>

今 後 の 取 組 み 方 針

- ・地域材の安定供給・販路拡大に向け、計画的な主伐や搬出間伐に積極的に取り組むとともに、森林認証材を含め、公共事業や木造建築物での木材の需要拡大を図る。
- ・地元特産品などの地域資源を活かした農商工連携や6次産業化を促進する。

●評価部会（外部評価）

評 価	内 容

重点項目 2

観光資源を活かした交流と定住の促進

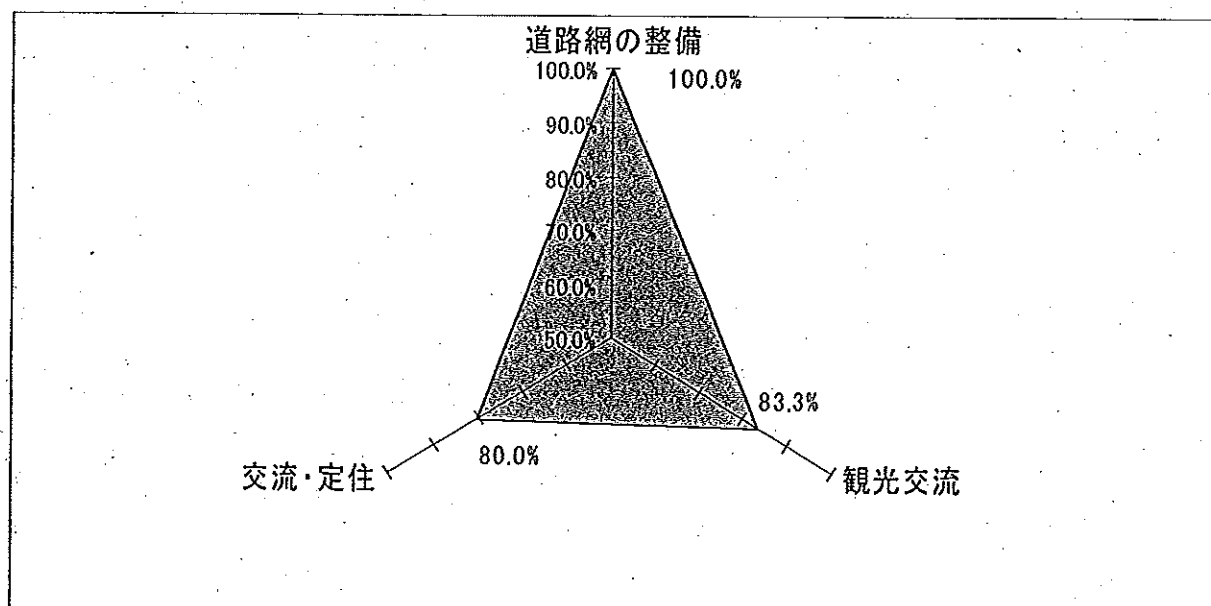
～「笑顔が行き交うにぎわう西部」の実現～

施 策 目 標	剣山や大歩危小歩危などの自然や、祖谷のかずら橋やうだつの町並みなどの伝統文化を活かした交流・定住の取組みを進め、圏域のにぎわいの創出を目指します。	
施 策 体 系	観光資源を活かした交流 と定住の促進	・にぎわい交流のための道路網の整備 ・観光交流の推進 ・団塊の世代をはじめとする都市住民との交流・定住の推進
主 な 取 組	・道路網の整備 ・地域公共交通の維持 ・観光客誘客活動の推進	・体験型観光等の推進 ・移住交流の総合受け入れ体制の整備 ・農林業体験の促進

【進捗度】

進捗度	数値目標数	項 目 名
100%	18	別表（資料6）のとおり
80%以上 100%未満	—	—
80%以下	3	・圏域内観光入込客数 ・グリーンツーリズムインストラクター数（累計） ・再掲分 グリーンツーリズムインストラクター数
計	21	

【施策体系別指標】 ※A・B評価の割合



【 評 価 】

●県民局（自己評価）

評 価	内 容
A	<p>重点項目2については、「道路網の整備」、「観光交流」及び「交流・定住」の3施策、21の数値項目のうち、「圏域内観光入込客数」、「グリーンツーリズムインストラクター数」、「再掲分グリーンツーリズムインストラクター数」の3項目で「未達成」の結果となったものの、その他の18項目（全体の85.7%）で「達成」「ほぼ達成」の状況となっており、この分野における取組みは順調に行われたと評価する。</p>


今 後 の 取 組 み 方 針

- ・にし阿波観光圏の積極的なPR活動や情報発信、さらには観光コンテンツの充実を図るとともに、外国人観光客の積極的な誘致を進める。
- ・田舎暮らしや農林業体験などの体験型教育旅行を推進する。

●評価部会（外部評価）

評 価	内 容

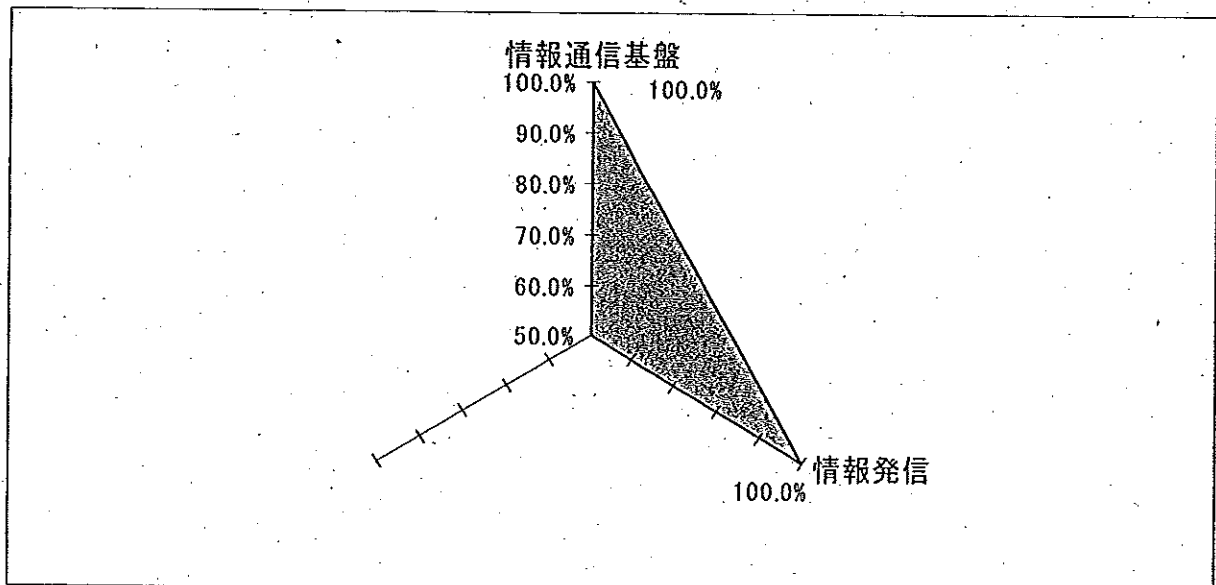
重点項目 3
情報通信基盤整備の促進と圏域からの情報発信
 ～「情報通信が暮らしにとけこみ広がる西部」の実現～

施 策 目 標	高度情報通信環境の整備を進め、圏域内での活用を進めるとともに、地域の魅力を効果的に情報発信し、資源を活かした圏域振興の一層の推進を目指します。	
施 策 体 系	情報通信基盤整備の促進と 圏域からの情報発信	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報通信基盤整備の促進 ・ 圏域の情報発信
主 な 取 組	・ ブロードバンド環境の整備促進	・ ICTを活用した圏域の情報発信

【進捗度】

進捗度	数値目標数	項 目 名
100%	6	別表（資料6）のとおり
80%以上 100%未満	—	—
80%以下	—	—
計	6	

【施策体系別指標】 ※ A・B評価の割合



【 評 価 】

●県民局（自己評価）

評 価	内 容
A	重点項目3については、「情報通信基盤の整備」及び「情報発信」の2つの施策、6つの数値項目すべてが目標に達しており、管内2市2町でブロードバンド環境が住民に提供されるなど、この分野における取組みは順調に行われたと評価する。

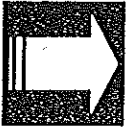
今 後 の 取 組 み 方 針

- ・ 情報通信基盤を医療や福祉などの面でも利活用されるよう市町と検討を行う。

●評価部会（外部評価）

評 価	内 容
-----	-----

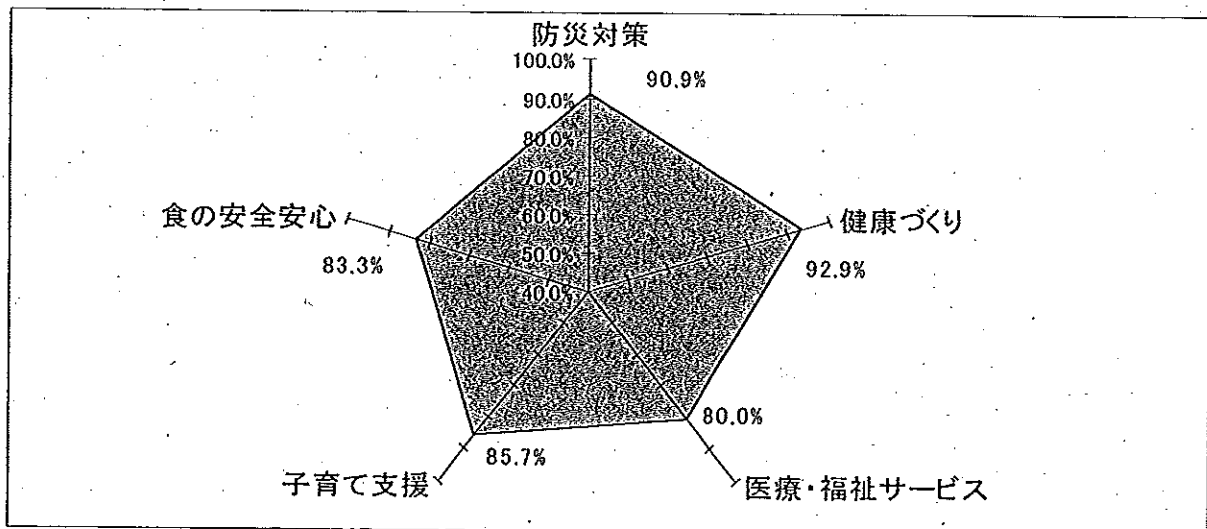
重点項目 4
健康で安全・安心に暮らせる環境づくり
 ～「健やかで心豊かな暮らしができる西部」の実現～

施 策 目 標	防災対策や健康づくりなど、住民が健康で安全・安心して暮らせる地域づくりを進め、地域資源を活かした取組みを図る圏域の魅力向上を目指します。	
施 策 系	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">健康で安全・安心に暮らせる環境づくり</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ・ 防災対策 ・ 健康づくり ・ 医療福祉サービス ・ 子育て支援 ・ 食の安全安心（消費者対策を含む） </div>	
主 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の防災力向上 ・ 災害予防対策や孤立化防止対策 ・ 医療体制の整備 ・ 生活習慣病対策や健康危機対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者と障害者の福祉の向上 ・ 少子化対策と子どもの安全確保 ・ 安全で安心な農産物の供給 ・ 暮らしの安全確保

【進捗度】

進捗度	数値目標数	項 目 名
100%	35	別表（資料6）のとおり
80%以上 100%未満	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般国道32号改築防災大歩危工区の整備 ・ 認知症サポーター数（累計） ・ 地域子育て支援センター数（累計）
80%以下	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織率 ・ 糖尿病標準化死亡比の改善（西部Ⅱ） ・ 指定相談支援事業所の指定件数（累計） ・ ファミリーサポートセンター事業実施市町数 ・ とくしま安²農産物認証数（累計）
計	43	

【施策体系別指標】 ※ A・B評価の割合



【 評 価 】

●県民局（自己評価）

評 価	内 容
A	<p>重点項目4については、「防災対策」をはじめとする「健康づくり」など5施策、43の数値項目のうち、38項目（全体の88.4%）において「達成」、「ほぼ達成」となっており、この分野の施策は概ね順調に実施されたと評価するものの、未達成となった項目の中には「ファミリーサポートセンター事業実施市町数」や「指定相談支援事業所の指定件数」のように全く進捗していないものもあり、市町等のニーズを十分把握できていなかったものとする。</p>

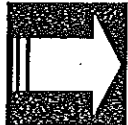
今 後 の 取 組 み 方 針

- ・糖尿病をはじめとする生活習慣病対策を推進する。
- ・「次世代育成支援行動計画」に基づき、地域の子育て機能強化を支援する。
- ・障害者への理解を高めるための環境づくりや地域で自立した生活ができるよう就労支援等の充実に取り組む。

●評価部会（外部評価）

評 価	内 容

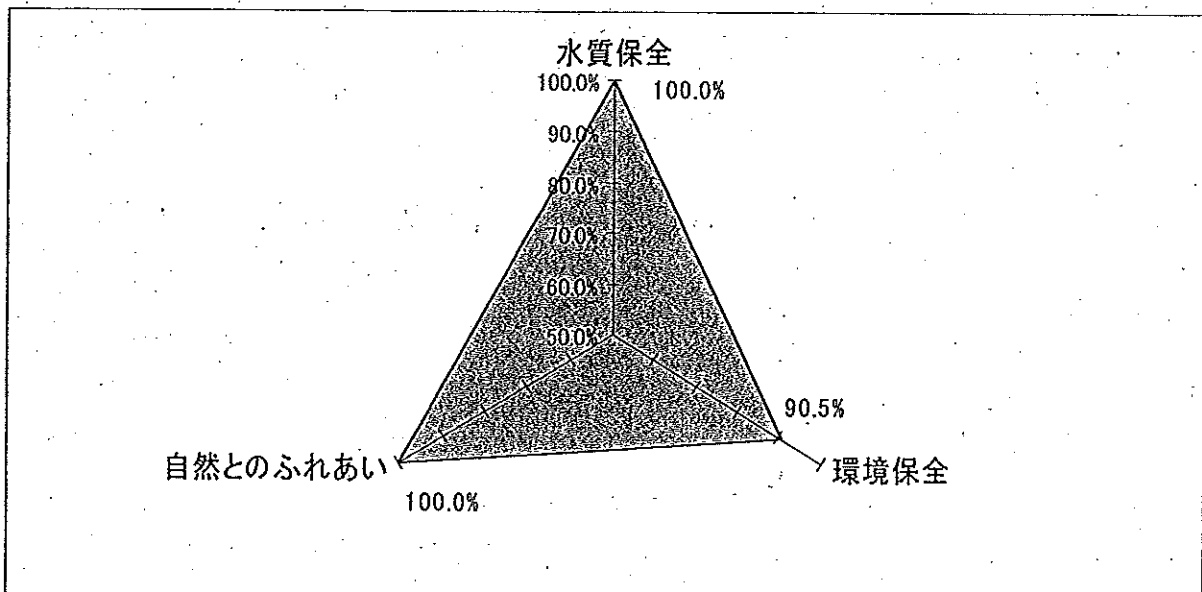
重点項目5
環境資源の保全と暮らしとの共生
 ～「美しい自然をはぐくむ西部」の実現～

施策目標	圏域の優れた資源である豊かな自然環境を保全するとともに、暮らしと自然環境との共生を目指します。	
施策体系	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">環境資源の保全と暮らしとの共生</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・水質保全 ・環境保全 ・自然とのふれあい </div>	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・生活排水処理施設の整備 ・地域住民への啓発活動の推進 ・耕作放棄地対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐の推進 ・森林認証の取得推進 ・野生動植物の保護と被害対策

【進捗度】

進捗度	数値目標数	項目名
100%	22	別表（資料6）のとおり
80%以上 100%未満	1	・保安林指定面積（4ヶ年累計）
80%以下	2	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備地域活動において施業の集約化に取り組む実施協定数（累計） ・中山間地域の農地管理、集落活動を行う集落協定数
計	25	

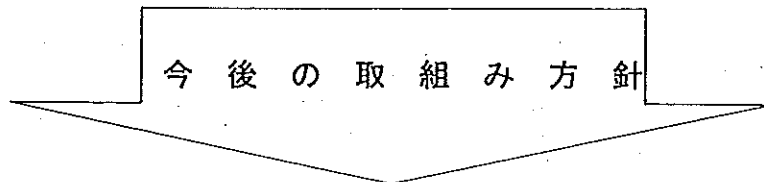
【施策体系別指標】 ※ A・B評価の割合



【 評 価 】

●県民局（自己評価）

評 価	内 容
A	<p>重点項目5については、「水質保全」、「環境保全」及び「自然とのふれあい」の3施策、25の数値項目のうち、「森林整備の施業集約化」や、「中山間地域の集落活動の協定数」の2項目で未達成の状況となったものの、ほかの23項目（全体の92%）で「達成」、「ほぼ達成」となっており、この分野における取組みは順調に行われたと評価する。</p>



- ・ 浄化槽教室を開催し、地域住民の水質保全に対する意識啓発を行い、汚水処理人口普及率の向上に向けて取り組む。
- ・ 中山間地域での高齢化や担い手不足、鳥獣被害から今後も遊休農地が増えることが懸念されることから、引き続き、こうした対策の取組みを推進する。

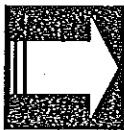
●評価部会（外部評価）

評 価	内 容

重点項目 6

地域に根ざした産業や文化を支える人づくり

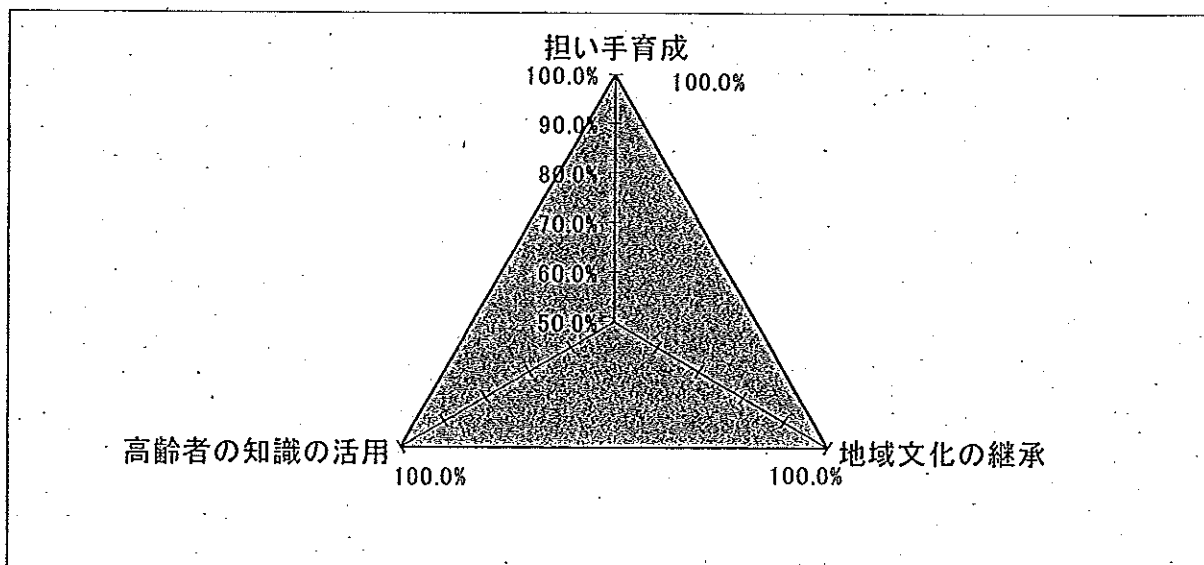
～「地域を担う人が輝く西部」の実現～

施 策 目 標	産業や文化などを担う人づくりを進め、地域資源を活かした取組みの発展持続を目指します。	
施 策 体 系	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 地域に根ざした産業や文化を支える人づくり </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農林業の担い手対策 ・ 地域文化の継承 ・ 高齢者等の経験や知識等の活用 (コミュニティの活性化を含む)
主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定農業者やファームサービス事業体の育成 ・ 林業技術者の育成や新規就労者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域文化の担い手育成 ・ シルバー大学院の充実 ・ 地域コミュニティの活性化

【進捗度】

進捗度	数値目標数	項 目 名
100%	7	別表(資料6)のとおり
80%以上 100%未満	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族経営協定数(累計) ・ 新規就農者数(累計)
80%以下	—	
計	9	

【施策体系別指標】 ※A・B評価の割合



【 評 価 】

●県民局（自己評価）

評 価	内 容
A	重点項目6については、「担い手育成」、「地域文化の継承」及び「高齢者等の経験や知識等の活用」の3施策、9つの数値項目のすべてが「達成」、「ほぼ達成」となっており、この分野における取組みは順調に行われたと評価する。

今 後 の 取 組 み 方 針

- ・ 農林業の担い手育成を支援する。
- ・ 地域の活性化を図っていくための人材育成を促進する。

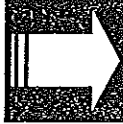
●評価部会（外部評価）

評 価	内 容

重点項目7

多様な主体の連携・協働による地域づくり活動の推進

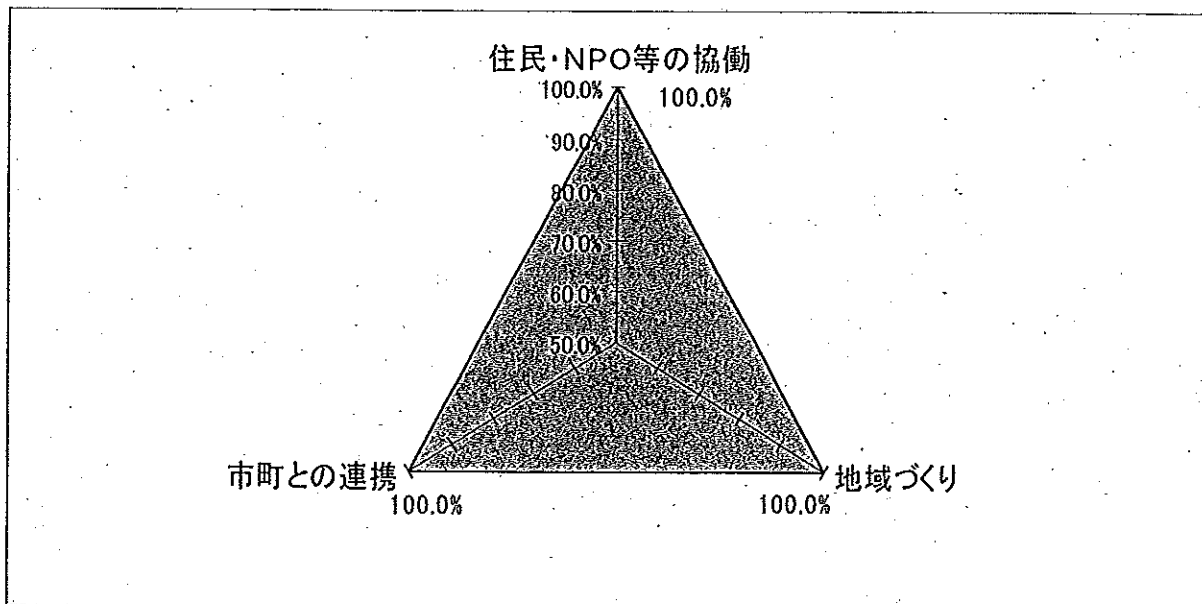
～「連携の輪がひろがる西部」の実現～

施 策 目 標	住民やNPO等多様な主体が連携・協働する環境整備を進めることにより、新たな取組みの創造や、圏域振興が図られる地域づくりを目指します。	
施 策 体 系	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 多様な主体の連携・協働による地域づくり活動の推進 </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民・NPO等との連携促進 ・地域づくり活動の支援 ・市町との連携促進
主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO、ボランティア等の地域づくり活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町への権限委譲の推進 ・にし阿波協働センター

【進捗度】

進捗度	数値目標数	項 目 名
100%	9	別表（資料6）のとおり
80%以上 100%未満	—	
80%以下	—	
計	9	

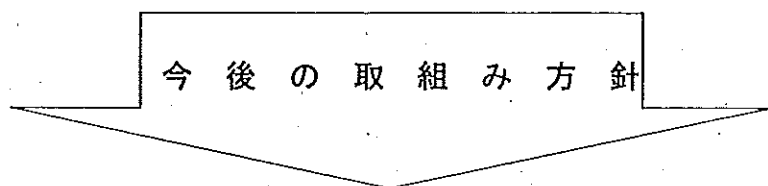
【施策体系別指標】 ※A・B評価の割合



【 評 価 】

●県民局（自己評価）

評 価	内 容
A	重点項目7については、「住民・NPO等との連携」、「地域づくり活動の支援」及び「市町との連携」の3施策、9つの数値項目のすべてが「達成」「ほぼ達成」となっており、この分野における取組みは順調に行われたと評価する。



- ・ NPO、ボランティア等が新しい公共として重要な役割を果たすことが期待されており、引き続きこうした取組みを進めて行く。
- ・ にし阿波協働センターの機能を活かし、圏域の住民、民間団体、企業、市町等と連携協力しながら、活力あるにし阿波づくりを目指した取組みを進める。

●評価部会（外部評価）

評 価	内 容

◎ 総括評価

重点項目	評価	達成	ほぼ達成	未達成	計
		100% A	80%以上 B	80%未満 C	
1 農林業資源や地域特性を活かした産業の振興		23	1	2	26
		88.5%	3.8%	7.7%	100.0%
2 観光資源を活かした交流と定住の促進		18	0	3	21
		85.7%	0.0%	14.3%	100.0%
3 情報通信基盤整備の促進と圏域からの情報発信		6	0	0	6
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
4 健康で安全・安心に暮らせる環境づくり		35	3	5	43
		81.4%	7.0%	11.6%	100.0%
5 環境資源の保全と暮らしの共生		22	1	2	25
		88.0%	4.0%	8.0%	100.0%
6 地域に根ざした産業や文化を支える人づくり		7	2	0	9
		77.8%	22.2%	0.0%	100.0%
7 多様な主体の連携・協働による地域づくり		9	0	0	9
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合 計		120	7	12	139
		86.4%	5.0%	8.6%	100.0%

● 西部総合県民局

西部圏域振興計画において設定した139の成果指標では、7つの重点項目それぞれで8割を超えて「ほぼ達成」以上の成果を収めており、4年間の取組み結果としては概ね順調に実施できたものと評価する。

しかしながら、この4年間の計画期間中にも、地域の活力の低下や衰退が想定される人口減少や限界集落の増加といった過疎化・高齢化が依然として続いており、今後とも、市町はもとより地域住民等との協働による地域づくりを進め、圏域振興に取り組んでいく必要がある。

● 評価部会